

こんにちはコミュニティ  
**Community**



CONTENTS

- 02 新しい生活様式におけるコミュニティ活動
- 04 コミュニティ活動功労者表彰式
- 09 コミュニティカレンダー予告
- 10 いきいきコミュニティライフ！
- 11 コミュニティ通信  
書籍紹介
- 12 お知らせ

Vol.  
**116**  
September  
2020

# 新しい生活様式における コミュニティ活動について

「新しい生活様式」を実践しながら、新型コロナウイルス感染拡大の予防とコミュニティ活動の両立を図るために心がけることや工夫点などを分かりやすく整理しました。地域行事等の活動を実施する際の参考としてご活用ください。

## 主催者が心がけること

※催物（イベント等）の開催会場や施設の感染症拡大防止対策に即して活動する。

※「3密」（密集・密接・密閉）を回避して活動する。

### ●密集対策

- ・人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空けましょう。
- ・座席は隣の人と一つ飛ばしに座りましょう。
- ・真向かいには座らず、互い違いに座りましょう。
- ・屋内では、収容定員を考慮し、会場を広く使い、空間を確保しましょう。

### ●密接対策

- ・十分な距離を保ち、マスクを着用しましょう。
- ・飲食を伴う活動を行う場合は、対面を避け会話を控えましょう。

### ●密閉対策

- ・窓を開けて換気を行いましょう。
- ・窓が一つしかない場合は、扇風機や換気扇を併用するなど工夫しましょう。



## 具体的な対策例

### ●参加者名簿の作成

- ・氏名、連絡先の把握
- ・万一、感染者が発生し追跡調査が必要になった時に役に立ちます。1 か月は保管します。

### ●参加者数の制限を守る

- 待合場所等における密集の回避

### ●長時間の滞在を避ける プログラムと進行管理

### ●会議・研修会などは、書面開催やオンライン会議の検討

- 複数の会場や複数の日程による分散開催や入替制などによる人の集中の回避

### ●飲食を伴う活動について

- ・調理員は、必ずマスク・手袋を着用し、こまめに手を洗いましょう。
- ・整理券を配布するなどして行列が生じないように工夫しましょう。

### ●検温や健康状態の聴取

- ・チェックリストを作成し、参加者の健康状態を把握します。

●会場で参加者が共用する物品類の消毒の徹底。

●清掃活動について

- ・作業はできるだけ2m以上離れて行う。
- ・グループでなければできない作業を行う際は、マスク・手袋を着用して、人と人とが接触しないようにしましょう。

●高齢者など重症化リスクの高い人には、消毒・衛生対策を徹底してもらいましょう。

●対面を避ける座席配置やシールド等の設置

## 参加者が心がけること

●体温測定・健康チェック

- ・発熱等の風邪の症状が見られる場合には、活動参加を控えましょう。

●活動に際しては、可能な限り

マスクを着用し、咳エチケットを心がけて参加しましょう。

●こまめな手洗いや手指消毒。

- ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。

●活動後はうがいや手洗い、

シャワーを浴びるなど、自宅にウイルスを持ち帰らない行動を徹底しましょう。

●暑い日はこまめな水分補給など、熱中症についても対策をしましょう。

●接触確認アプリの活用





下野市国分寺中央コミュニティ推進協議会  
岡本会長 受賞者代表謝辞

## 令和2年度 コミュニティ活動功労者表彰式

2020.5.26 (火)

栃木県庁東館4階講堂



5月26日(火)に栃木県庁東館4階講堂において、令和2年度コミュニティ活動功労者表彰式を開催しました。例年、総会・研修会の席上にて行われる表彰式ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会は書面による開催、研修会は延期となり、表彰式は関係者のみで執り行われました。

この表彰は、多年にわたり住みよい地域社会実現のためにコミュニティづくりを推進し、成果をあげられている団体・個人を讃えとともに、将来にわたりその活躍が期待される個人・団体に対し活動を奨励するために実施しているものです。今年度は、知事表彰が2団体1名、コミュニティ協会長表彰が3名の受賞でした。

知事表彰を代表して、下野市国分寺中央コミュニティ推進協議会の岡本会長より謝辞をいただきました。岡本会長は謝辞の中で、『新型コロナウイルス感染症の影響で、先輩達が築いてこられた地域の文化活動を今までどおり行うことができない。これからどのような形で活動するべきか模索している。』と述べられました。

コロナ禍の状況下で、地域活動をどのように実践するか、これからの課題です。



(左より 敬称略)

入内澤会長 井上 武志 江原 輝雄 大島 秀子 玉田 斌(栃木市) 岡本 鉄男(下野市) 千金楽栃木県県民生活部長



# ■ コミュニティ活動功労者表彰 ■

## 知事表彰

受賞された皆さまを御紹介します。

おめでとうございます！

### ◆ 国分寺中央コミュニティ推進協議会（下野市） ◆

地域社会発展のため広く住民の意思を反映し、地域住民相互の自主的参加による人間的な結びつきを高めることにより、明るいまちづくりを促進することを目指して、昭和60年7月に設立されました。

スポーツ・レクリエーション部、青少年育成部、文化教育部、環境福祉部、安全部、広報部の6つの部会を設け、コミュニティ活動を推進しています。

主な活動として、ふれ愛祭りの開催、盆踊り花火大会の実施、ふれあい紙の発行、センター清掃等がありますが、住民は積極的に活動に参加していて、活動を通じて住民のコミュニティへの認識が深まるとともに、住民による明るい地域づくりや地域活性化への関心が高まっています。



ふれ愛祭り



花火大会



#### ● 受賞に寄せて ●

この度はコミュニティ活動功労者知事表彰の栄に浴し、会を代表し心より御礼申し上げます。私の役目はコミュニティの活性化です。人の意見は聞く！悪いことは直す！を基本に地域の発展に取り組みます。今後とも県コミュニティ協会のご指導を宜しくお願い申し上げます。（会長 岡本鉄男）

私たちがコミュニティづくりに協力しています

『できる親切はみんなでしよう それが社会の習慣となるように』

### 「小さな親切」運動栃木県本部

代表：黒本 淳之介  
事務局：栃木銀行 経営企画部広報文化室  
住所：宇都宮市西2丁目1番18号  
TEL：028-633-1241（代）



## ◆第五地区コミュニティ推進協議会（栃木市）◆

平成8年4月設立。地域住民のつながりを強化し、連帯感の醸成を図ることを目的として、活動を開始しました。

総務部、社会部、体育部、女性部、文化部、高齢者部等の各種部会を設け、関係諸機関・団体と連携し、地域住民相互の連帯感の醸成と文化の向上に努め、明るいまちづくりを目的としてコミュニティ活動を行っています。

年間を通して団体に所属するサークルが活動を行い、各種講座を通して交流を図ったり、年1回文化祭を開催し、地域交流・世代間交流の場を提供したり、地域住民の交流機会を創出しています。



ダンス発表



展示

### ●受賞に寄せて●

第五地区は、緑に囲まれた市総合運動公園、大型ショッピングモール、市民病院、また、中央に巴波川が流れ、歴史ある蔵の街景観と生活環境に恵まれた地域です。受賞を機に更なる地域交流、世代間交流の場を創出、3,000世帯の皆さんと明るいまちづくりの向上に努めて参ります。  
(会長 玉田 斌)

## ◆大島 秀子（小山市）◆

大島秀子氏は、平成10年4月よりあさひコミュニティ推進協議会で部会の唯一の女性部長として、主に女性を主体とした地域コミュニティ活動の中心となって、種々の行事・イベントを推進してきました。

平成18年4月からは小山市コミュニティセンター管理人（本部事務局員）や小山市小山城南市民交流センター施設管理運営事業副部長を務め、センターの管理運営に従事してきました。

また、市民向けの活動の一つとして、「自主講座」を立ち上げ、センターでは継続的に講座・教室が開催されています。大島氏は、本部事務局員として授業の企画調整を行うとともに、「自主講座」のうちの二つをボランティアで担当し、会の重要な活動を牽引しています。



協議会 役員会



キーボード演奏する大島さん

### ●受賞に寄せて●

この度個人で「知事表彰」を受け大変光栄に浴します。私が活動に携わる切っ掛けは、退職後皆様に何か役に立つ事と言う考えで始まり、「光陰矢のごとし」20年の月日が流れて、この間大過なく出来ましたのも協議会の皆様の御協力に感謝で一杯です。今後も微力ながら地域社会で頑張っ

◆江原 輝雄 (小山市) ◆

平成14年4月からあさひコミュニティ推進協議会体育社会部会の部員として活動に参画し始め、同部会副部長を経て、平成18年から部長として体育社会部活動一筋に18年にわたり尽力してきました。

本協議会が指定管理を行っている小山市小山城南市民交流センターの市民向け講座「みんなのラジオ体操講座」を毎月開催し、市民の健康増進に貢献しています。

卓球大会、輪投げ大会、グランドゴルフ大会、ミニマラソン大会など体育社会部による活発なレクリエーションや健康増進事業は、センターと隣接する城南公園を活用して行われ、幅広い層の市民・住民に受け入れられ、住民の交流にも役立っています。



講師とともにラジオ体操



ラジオ体操

●受賞に寄せて●

会長表彰を頂き誠に光栄に存じます。私の属するあさひコミュニティ推進協議会は、昭和52年に設立され、私は体育社会部部員として各種のスポーツを通してコミュニティ活動を推進して、地域住民同士の交流を深めております。今回の受賞を糧に更なる活動を実践したいと考えます。

◆増渕 鉦一 (上三川町) ◆

平成16年8月、明治コミュニティ推進協議会の発足時から平成29年度末まで会長として会を率い、平成30年度からは顧問を務め、支え合い助け合いの地域づくりを心掛け活動を行ってきました。

明治地区は、昔から住んでいる地元住民と大規模造成された新興住宅地への転入住民との二極分化が懸念されていましたが、本協議会の活動を通す中で、地元転入に関わらず、地域住民皆が参画することで一体感を生み出しています。

また、上三川の伝統や歴史を題材にした「かみたんカルタ」を作成し、地域を知り、郷土愛を育む活動を行っています。



かみたんカルタ大会

●受賞に寄せて●

コロナにも耐え、若い芽が遅しく、真偽を見極め協調しながら伸びる、その土壌が出来つつあると感じています。今回の受賞はこの土壌づくり汗を厭わなかった方々へのご褒美と感謝申し上げます。今、コロナ禍からコミュニティをどう護るかが課題で、こども教室への感染防止に努めております。

## ◆井上 武志 (那須塩原市) ◆

平成21年3月、塩原温泉コミュニティの設立当初から会長に就任し、住民の意思反映と自主参加を促し、住民相互の連帯感のある明るい地域づくりなど、コミュニティ活動の充実に努めてきました。

地域内の団体との連携を密にし、各種団体の協力のもと、コミュニティまつりを実施しています。また、地域学校協働本部にも参画し、学校と地域の連携にも寄与しています。

幼児から高齢者が交流するコミュニティまつりや中学生から高齢者が参加するさいかつぼーる大会等の世代間交流を図る事業が、住民の親睦、連帯感を高める重要な役割を果たしています。



コミュニティまつり



バレーボール大会



歴史講座

### ●受賞に寄せて●

平成21年3月、塩原温泉コミュニティが発足いたしました。

地域に住む人たちが温かい心のふれあいをもって話し合い助け合い、そして力を合わせて快適な環境と心豊かな町をつくることをモットーに会長として頑張っまいりました。

この度のコミュニティ会長表彰、誠にありがとうございます。



受賞された皆様には、引き続き、地域コミュニティの活性化に向け御尽力いただき、今後ますますの御活躍を期待しております。

表彰を受賞された皆様の長年にわたるご功績に対し、敬意を表しますとともに、心よりお祝いを申し上げます。

人口減少や少子高齢化の進行など、私たちを取り巻く環境が変化する中にありながらも、地域コミュニティは、防犯、環境美化や高齢者の見守りなど様々な活動を通して地域の支えとなっており、さらには、災害の頻発する近年において、その重要性は一層高まってきていると感じています。





# コミュニティカレッジ2020を開催します！



地域のコミュニティリーダーの育成を図り、併せて、コミュニティづくりの振興を図ることを目的として、毎年コミュニティカレッジを開催しています。

今年度は、日光市久次良自治会の実践から学びます。

平成25年に「ホットくじら隊」を発足し、近所に住む一人暮らしの高齢者の様子がいつもと違うと感じたら、自治会役員または民生委員児童委員に連絡する体制をつくり、さりげない見守り活動を続けています。

地域コミュニティ活動に関心のある方ならどなたでも参加できますので、皆様のご参加お待ちしております！！

## ● プログラムの概要 ●

11/ 6(金) 10:30～11:30  
13:30～14:30

### ① プレセミナー 「Zoom にチャレンジ」

- Zoom 利用学習会
- だれでも分かる正しい Zoom の使い方

11/13(金) 9:30～12:30

### ② 新しい生活様式と地域づくり

- オンラインによる学び方
- オンラインと地域づくり

12/ 4(金) 9:30～12:30

### ③ 久次良自治会を訪ねて

- 現地インタビュー  
久次良町自治会役員へのインタビューの様子を“生中継”

① ⑤ 会場:とちぎボランティアNPOセンター  
(宇都宮市昭和 2-2-7 TEL 028-623-3455)

②～④ オンライン会議システム(Zoom)  
各回ファシリテーター:廣瀬 隆人 桑島 英理佳  
土崎 雄祐(一般社団法人 とちぎ市民協働研究会)

参加者募集中!!

Zoom とは、パソコン、スマートフォン等で使えるテレビ会議システムのことで、誰でも簡単に無料で、複数人でのテレビ会議ができます。



コミュニティカレッジ 2019 の様子

1/15(金) 9:30～12:30

### ④ 久次良自治会から学ぶこと

- ③のインタビューのまとめと考察
- アジェンダ作成

1/29(金) 9:30～12:30

### ⑤ ふりかえりと交流会

- 参加者同士の交流
- 講座全体のふりかえり

私たちがコミュニティづくりに協力しています

県民・行政・企業の協働と社会貢献活動のお手伝いをします！



**NPO 法人とちぎ協働デザインリーグ**  
TOCHIGI COLLABORATION DESIGN LEAGUE  
みんなと育むまちづくりシンクタンク

とちぎボランティアNPOセンター「ぼ・ぼ・ら」管理運営団体  
☎ 070-4288-7400 HP: <https://www.tochigi-tcdl.net/>



## 連載 いきいきコミュニティライフ！ ②

文 / 安藤 正知

### 「今、自分と向き合う時間を大切に」

前回、人々の共感を得るために必要なのは熱意と覚悟、とお話しました。「この指とまれ」と指を差し出す覚悟が大切だ、との思いからですが、一方で「この指に止まってくれる人が現れない」という悩みもお聞きしました。確かに仲間を探すのは大変ですよ。

最近私たちの法人が主催したいくつかの勉強会で、「どうすれば仲間を増やすことができるか」という問いに、複数の講師が同じ内容の回答をされてました。それは「会話」と「イノベーション」です。はじめは雑談でもいいから、誰かと話をする、つまり言語化すること、その過程で「妄想(思いつき)」が「構想(実現の手順がある)」になり、新しい組み合わせ=イノベーションが起こって共感する仲間が増える、というお話でした。妄想にお付き合いいただけるかどうか、先方の意思を尊重することを忘れてはいけません。

半年前であればこのコラムの締めくくりは「たわいのない雑談からでもいいので、会話を通して共感を広めていきませんか」

となっていたことでしょう。ところが、コロナ禍の今、人と人が実際にあって話をするのが意思疎通には欠かせないという前提がくつつがえってしまいました。突然ふってきた価値観の変容に直面して、出会い・気づき・つながる、を合言葉にしてきた私たちがどう行動すべきか、実に悩ましい問題です。先日意見交換した自治会の方も「せっかくみんなでやる気を出した矢先に出鼻をくじかれた」と嘆いていらっしゃいました。

でもピンチはチャンス、そんな時だからこそ、じっくりと次の一手を考える機会にしたいものです。人との会話が制限されるのなら、ここは一人で妄想にふけりながら、自分の引き出しを増やす、そして、新しい出会いを想像する、というのはどうでしょうか。ちょっと暗い感じもしますが、自分と向き合って独自のアイデアを練り上げる時間は、窮屈な「新しい生活様式」において、きっと贅沢なひとときになることと思います。

安藤正知(あんどう まさとも)

認定 NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房 理事長

秋田市出身。化学品会社に 16 年勤務後退職し、2003 年より宇都宮市民活動サポートセンター勤務、2005 年 NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房設立に関わり、2019 年理事長就任、市民主体のまちづくりを目指して調査研究、まちづくりの実践を行っている。2012 年 1 月宇都宮市が開設した宇都宮市まちづくりセンターの指定管理者としてその管理運営に携わる。

# コミュニティ通信



## ◆ 明治コミュニティ推進協議会 (上三川町) ◆ (記: 会長 保坂 有二) ~ 今・地域で思うこと ~

人を集め親睦と融和を図り、地域の絆を結ぶのが本会の目的で、各種の行事を実施してきました。それが、新型コロナウイルスによって、全て中止に追い込まれ、地域の閉塞感は拭えません。

先日のオールとちぎ宣言の中で、「新型コロナは誰もが感染しうる病気です。私たちが闘っているのは、ウイルスであり、人ではありません」とあります。誰もが感染の危機にある状況なのです。

曖昧な情報で感染者を詮索し、特定すれば感染者やその家族に対する偏見や差別、誹謗中傷等で悲しい思いをしてしまいます。まして感染者を嫌う風潮が出てはならないことです。私たちの地域は、当たりまえに感染者の平癒を励まし、戻ってきたら温かく迎えられる地域づくりが急務であると考えています。正しく恐れるとも言われますが、マスク、手洗い、消毒、三密を避けることなど基本的なことを、決して疎かにしないことを繰り返して訴えたいと思います。私たちは、息を潜めて収束を待つ高齢者をどう勇気づけるか苦慮し、活動再開のめどが立たないままです。

今こそコロナ対策の、新たな生活様式に対応する、地域の在り方を「創索」する必要があると模索している次第です。

今は放課後の居場所に来て館する学童や、間隔を取りながら練習するブラスの支援と、感染防止に心を砕いているこの頃です。



間隔を取りながら練習するブラスバンドの部員



子ども教室での物作りの様子



つっちー おすすめ!



## ◆ 書籍紹介 ◆

### 『栃木県高等学校地域連携・協働実践事例集2019』

栃木県高等学校長会発行  
一般社団法人とちぎ市民協働研究会編集・発行

栃木県コミュニティ協会会員である栃木県高等学校長会と一般社団法人とちぎ市民協働研究会では、県内の高等学校が自治体や団体と連携・協働した活動を紹介する事例集を3月に共同発行しました。この事例集を発行するにあたり、各校の先生方に事例の執筆をお願いし、県内公私立全85校のうち58校の事例を紹介することができました。

その実践を俯瞰すると、教科や「総合的な学習の時間」の指導の一環として地域との連携活動が位置付けられた実践、専門高等学校の連携事業、部活動などによる連携が確認できました。また、特色ある取組として、防災、福祉、地域行事、自然保護、社会教育など今日的な課題から伝統的な取組まで多様な活動が見られ、高校生がワクワクしながら活動に取り組んでいる様子を紙面上で読み取ることができます。

地方創生の流れを汲んだコミュニティ・スクールの推進や世界的な潮流であるSDGs、さらにはこの事例集の発行後に議論が始まった普通科再編の動きなど、高校を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。そんな時代だからこそ、地域連携・協働による活動を通して、生徒は自分の力や可能性に気づき、それを後押しするプロセスで地域づくりが進展することを願ってやみません。



\*ご希望される方に本書を有償頒布しています(1冊千円+送料)。とちぎ市民協働研究会(E-mail:tsk@tochnjgk.org)までご連絡ください。一般書店では流通しておりませんのでご注意ください。

土崎 雄祐(つちざき ゆうすけ) 秋田県生まれ。これまでにNPO 法人職員や大学教員として学生向け地域志向科目や市民向け講座のプログラム開発、自治体職員研修の企画立案支援などに従事。認定NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房常務理事、(一社)とちぎ市民協働研究会専務理事など

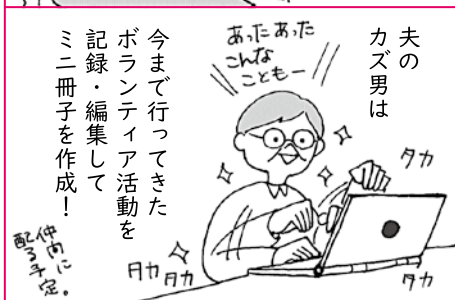


# コミュニティ日和



作画：平子めぐみ

## 自分にできること



## お知らせ

### ▼ 会員代表者等の変更について ▼

代表者、または住所等の変更がありましたら、事務局あてに随時ご連絡ください。(FAX可)

### ▼ 広告を募集しています！ ▼

こんにちはコミュニティへの広告を募集しています。広告は、賛助会員及び会員に限らせていただきます。

広告のスペースは、約1/4ページ分(約17cm×6cm)。広告料は、年1回の掲載で3,000円となります。広告内容は自由ですが、公序良俗に反するもの、特定の団体・個人を誹謗中傷または一方的に攻撃するものは掲載できません。

広告掲載を希望される場合は、ご連絡ください。



発行：栃木県コミュニティ協会  
 〒320-8501  
 栃木県宇都宮市埜田 1-1-20  
 栃木県県民生活部県民文化課内  
 TEL 028-623-2110/FAX 028-623-2121

### 【表紙の写真】 旧青木家那須別邸

日本最大の扇状地「那須野が原」は、江戸時代までは、ほとんど人の住めない荒野が広がっていました。明治時代になると、国の殖産興業政策に基づき、大規模農場方式による開拓が行われました。那須野が原の開拓の歴史は、「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」として日本遺産に認定されています。

旧青木家那須別邸は、明治時代の外務大臣青木周蔵の農場の別邸で、現在は那須塩原市の「道の駅 明治の森・黒磯」にあります。日本遺産の構成文化財の一つになっていて、国の重要文化財にも指定されています。

建物の前方には、四季折々の花が咲き誇る「ハンナガーデン」があり、多くの観光客が訪れています。